

令和元年11月19日

魚沼市議会議長 遠藤 徳 一 様

市民福祉委員会

委員長 高野 甲子雄

### 市民福祉委員会調査報告書

本委員会は、所管事務について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

#### 記

- 1 調査事件名
  - (1) うおぬま元気ポイント前期実施状況について
  - (2) 魚沼市いのちを支える自殺対策計画について
  - (3) 公立・公的病院の再編統合検証について
  - (4) 行政視察の総括について
  - (5) その他
  
- 2 調査の経過
  - 11月19日に委員会を開催し、上記案件について調査を行った。
  - うおぬま元気ポイント前期実施状況について、魚沼市いのちを支える自殺対策計画について及び公立・公的病院の再編統合検証について執行部から報告を受け、質疑を行った。
  - その他で、クマ対策の現況について執行部から報告を受け、質疑を行った。

## 市民福祉委員会会議録

### 1 調査事件

(1) 令和元年度うおぬま元気ポイント前期実施状況について

(2) 魚沼市いのちを支える自殺対策計画について

(3) 公立・公的病院の再編統合検証について

(4) その他

・クマ対策関係の報告

2 日 時 令和元年11月19日 午前10時

3 場 所 広神庁舎3階 301会議室

4 出席委員 大桃俊彦、佐藤 肇、関矢孝夫、高野甲子雄、森島守人、森山英敏  
(遠藤徳一議長)

5 欠席委員 なし

6 説明員 小峯市民福祉部長、山田健康増進課長

7 書 記 櫻井議会事務局長、高橋主任

8 経 過

開 会 (10:00)

高野委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから市民福祉委員会を開会します。先日の視察に関しまして、大変強行日程の中、全員から参加いただきましてありがとうございます。山田健康増進課長からもご同行いただき一緒に視察していただきまして、ありがとうございました。各委員からは、感想、所見などを提出いただき、今後の委員会活動への提案もいただいております。後ほど審議をしていただきます。それではこれから、本日の会議を開きます。それでは日程にしたがって審議をお願いします。

・うおぬま元気ポイント前期実施状況について

高野委員長 それでは日程第1、うおぬま元気ポイント前期実施状況についてを議題とします。資料が配付されておりますので、説明を求めます。

小峯市民福祉部長 それでは、カラーのホチキス止めの資料となります。うおぬま元気ポイ

ントの前期実施状況につきまして説明をさせていただきますが、こちらについては、山田健康増進課長から説明をしていただきます。

山田健康増進課長 (資料「令和元年度うおぬま元気ポイントの前期実施状況について(報告)」により説明)

高野委員長 これから質疑を行います。ただいまの説明について、質疑はありませんか。

佐藤委員 今ほどまとめていただいたこの期間というのは、何日から何日ということになっていますか。

山田健康増進課長 前期は、5月1日から9月30日までです。

関矢委員長 今、前期ということで参加実人数が277人ということですが、執行部側が想定していた人数に対して多かったのか、少なかったのかその辺どうでしょうか。

山田健康増進課長 数字から見ますと、1.2から1.35倍に上がっていているのですが、これを多いか少ないかという検証よりは、確実にふえているということは数字でわかりますので、これをまた別に検討するようなことも考えていきたいと思っておりますし、高齢者や男性のほうも力を入れたいと思っております。

関矢委員 年度別の数字がふえているのはよいことですが、この年代別を見るとやはり60代、70代女性を中心ということで、男性の参加が少ないのと、もう少し50代くらいの方も病氣予防や介護予防のためには参加者をふやす方法を考えていくべきだと思いますが、今後その辺についてはどう考えているか、もし考えがありましたらお聞かせ願いたい。

山田健康増進課長 以前の委員会でも指摘がありました。このポイント制度というのは、元氣な高齢者になっていただくために、40代、50代から自分の健康に気をつけていただくということがひとつの目的でした。ラジオ体操のように、自分でポイントをつくとかでもいいと思いますが、若い方々はスマホ等の情報端末などの利用もありますので、そちらの提案も以前いただきましたが、まだ至っておりません。今後も引き続き考えていきたいと思えます。

大桃委員 春・秋に行っている体力測定会もこの関係になりますか。

山田健康増進課長 直接ではございませんが、ご自分が参加して、体力の増進につながると思えばポイントを押してもらえば対象となります。

大桃委員 ということは、これも一応関連しているということで捉えてよいんですね。

山田健康増進課長 はい、よろしいと思えます。

大桃委員 体力測定会に参加している人数というのは、各旧町村でだんだんと減ってきていたのですが、これを実施することで数字はふえていますか。

山田健康増進課長 申し訳ありませんが、把握しておりません。

森山委員 資料2ページの関係ですが、応募状況の中で601枚あったということで、その中で、不明・記載なし等が92枚あったということですが、これはどういう処理をしたのですか。

山田健康増進課長 ご希望の景品を書きいただくわけですが、それがなかったということですので。なるべく漏れのないように、はずれのないように、資料の一番下にもあるように、黄色のDコースが30とありますが、本来予定数は50ですので、そういうところにあてて、なるべくはずれがないようにしております。

高野委員長 ほかに質疑はありませんか。(なし) それではこれで質疑を終結いたします。

本件については、以上といたします。

#### ・魚沼市いのちを支える自殺対策計画について

高野委員長 日程第2、魚沼市いのちを支える自殺対策計画についてを議題といたします。

資料が配付されておりますので、説明を求めます。

小峯市民福祉部長 それでは、資料3ページとなりますが、魚沼市いのちを支える自殺対策計画につきまして、説明をさせていただきます。山田課長が説明いたしますので、よろしくをお願いいたします。

山田健康増進課長 (資料「魚沼市いのちを支える自殺対策計画」により説明)

高野委員長 ただいまの説明について、質疑はありませんか。

大桃委員 自殺者数がこれまで12名ということですが、これはすべて健常者の方ですか。

山田健康増進課長 申し訳ありませんが、その辺は把握ができておりません。そういった詳細のデータまではこないのです。

大桃委員 詳細までこない、ということになると、例えばその原因が分からなければ、対策をたてることはできないと思うのですが、いかがでしょう。

山田健康増進課長 おっしゃるとおりだと思います。こちらにくる情報は、年齢や性別、どういう方法で自死をされたとかそういうことで、障害をもっているとか健常者であったとか、そこまでは把握しておりません。

大桃委員 先般もご一緒に視察に行きましたが、そういう根本的な事をぜひおさえていただければよいと思いますし、また引きこもり等との因果関係があるのかといったことも含めて把握されることを要望します。

山田健康増進課長 検討させていただきます。

関矢委員 行政視察でタイムリーだったのですが、秋田市の自殺対策計画をみて、やはり目標設定が低いのではないかと。秋田市はもっと大きな目標値を立てた中で活動をされていますが、やはり自殺の原因は人によって違うと思うので、どういう対策をしたらよいかというのは非常に難しいと思いますが、秋田市を視察した中では、やはり市全体で一人でも自殺者を減らそうという動きを感じられたのですが、山田課長も視察に同行された中で、その辺をふまえて、当市の対策、自殺予防の活動の中でこれが足りないな、こうした方がよいなというものがあったらお聞かせ願いたい。

山田健康増進課長 先ほどの説明でもいたしましたでしたが、中高年の男性の数がとても多いという事は分かっていたのですが、働いている方が多いですので、その対策として企業の事業主の方々に、市はこういった自殺対策をしていますといった説明をする機会を設けております。企業一社一社を訪れてその話をしてもらちがあきませんので、企業の方々の集いや会合にお邪魔をするということを実施しております。そこからひとつずつ、少しでもアクションがあればよいと思っております。例えば、U-b i gや建設業協会ですとか、そういった事業主の皆さんにお話しをさせていただいております。

関矢委員 新潟県も自殺者が多く、その中で魚沼市も多い方ですので、自殺問題は大変なんだということを市民全体で考えられるような施策を打つべきだろうと思います。秋田市は、3月と9月を自殺対策強化月間として、市民をあげて対策に取り組むんだという意思表示

みたいなことをやっていますが、そのようなことをやるのも一つかなと思いますが、それについて今後ご検討していただければと思いますが、いかがでしょうか。

山田健康増進課長　私も随行しておりましたので、委員と同じような考えを持ちました。

高野委員長　ほかに質疑はありませんか。(なし) それではこれで質疑を終結いたします。

本件については、本委員会として引き続き調査をすることでご異議ありませんか。(なし) そのように決定いたしました。

#### ・公立・公的病院の再編統合検証について

高野委員長　日程第3、公立・公的病院の再編統合検証についてを議題といたします。資料が配付されていますので、説明を求めます。

小峯市民福祉部長　それでは資料5ページからとなります。公立・公的病院の再編統合検証について、先般新聞報道があったわけですが、こちらについて山田健康増進課長から説明させていただきます。

山田健康増進課長　(資料「公立・公的病院の再編統合検証について」により説明)

高野委員長　ただいまの説明について、質疑はありませんか。

佐藤委員　今回示されたのは、全国を一律に網掛けしてそれぞれ病院の実績だとか近隣の病院からの距離だとか、そういったもので単純に数値を出したんだという説明をいただいているのですが、この距離的なものというのはただ単純に直線距離ということなのか、それとも移動時間も含めての距離なんでしょうか。

山田健康増進課長　示されたのは、車で20分以内ということですよ。

佐藤委員　小出病院は対象になっていないんですが、診療実績というのはその病院の診療科目だとか、外来の患者の人数だとか、どういったものを基準にしているのか少し分かりづらいんですが、その辺の情報がありましたら教えていただきたい。

山田健康増進課長　資料6ページの一番下のところに、説明がございます。基準Aというのは、がんですとか心疾患などの決められた項目についての診療実績を基準としているものです。

佐藤委員　病院によってはその診療科目自体がないというところも当然あるんだろうと思います。小出病院につきましては、小児科はあっても急性期のものはしないとか、そういった病院になると患者さんはおのずと最初から行かないということになるわけですが、そういった機能を持っている病院であっても診療の実績が極端に少ないという判断があったということなんでしょうか。ここに県立松代病院が入ってくるんですが、松代病院についても、ほとんど小出病院の機能と近くて、その病院では手術もされていないと思うんですが、その辺についていかがでしょうか。

山田健康増進課長　委員が先ほどおっしゃった解釈でよろしいかと思います。

高野委員長　ほかに質疑はありませんか。(なし) それではこれで質疑を終結いたします。

本件については、引き続き調査をすることでご異議ありませんか。(なし) そのように決定いたしました。

#### ・行政視察の総括について

高野委員長 つぎに日程第4、行政視察の総括についてを議題といたします。今回の行政視察に対する各委員の感想、意見等の総括をお願いいたします。順次皆さんから確認も含めてご意見をいただきたいと思ひます。

佐藤委員 意見を若干出ささせていただいております。報告書3ページ下段に載っています。今回視察をさせていただきました藤里町につきましては、社会福祉協議会というその部分で非常に力を入れておられる方がいて、こういった意識改革がなされて、やってこれたのかなという部分だったんですが、小さな自治体だからできた部分もかなりあるんじゃないかなと。同様な考え方を、これを10倍20倍のスケールで持っていくというのは非常に難しいような気もしたところもありました。しかしながら、やはり取り組みは非常によい方向に動いていて、それが評価されているということで今回はよい視察になったと思っております。

関矢委員 報告書に書いてあるとおりでありますが、社会福祉協議会の菊池会長の思いが叶ったと言ひますか、思い入れのある事業であって、非常によい話を聞かせていただいたと思ひます。今日あたりの新聞報道でも引きこもり対策が出ていましたが、役所がしっかりと聞き取りをするというようなことで、それを行う自治体に対しては補助金を出すような内容でしたが、ただそれだけではなかなか引きこもり支援はできないんだらうなど。この藤里町のように真剣に、引きこもっている人たちの出口を見つけてやる、寄り添って話を聞くということをしなないと、ただ行政側が引きこもっている人たちの人数を把握し、原因は何だということを知りただけではできないという感じがします。魚沼市の社協もがんばっていますので、藤里町のようになればいいなというように感じました。

森島委員 まず、訂正していただきたいのですが資料2ページ、下から7行目ですが「生涯埋没」ではなく「生涯現役」ですので訂正をお願いいたします。私の感想ですが、報告書に書いてある通りですが、本も読ませていただきましたし、藤里町方式というのを見させていただきました。彼女は、社会福祉協議会からあがってきたということで、天下りという言い方がよいのか悪いのか別問題として、そこから声を上げてきたという形で会長になられたということで、私は非常に感慨深いものを持ちました。そして若者支援ということで、暗いイメージではなくて若者支援から、自立していくんだということを学ばせていただきました。

森山委員 引きこもりということがきっかけで、それを何とかしようと試行錯誤した中で、いわゆる藤里町方式という形で現在は非常に上手くいっているということで、考え方の転換、それから、そういったことが地域づくり、まちづくりにつながっているというところに非常に素晴らしいやり方だったのかなというように思っています。ぜひとも、魚沼市に招待して講演会をできればいいなと思ひました。

大桃委員 藤里町に視察に行く前に本を読んで、視察に行くまでは、引きこもりの問題を少し安易に考えていた部分があって、行政側とそれを取り巻く各団体で何とかなるんじゃないかなと、そのあたりを重視していけばいいんだらうなどと考えていたのですが、本を読んで、そして行政視察に行き、ひとつは菊池まゆみさんの負けず嫌いが功を奏したと、そういう言い方はすこしおかしいかもしれませんが、真剣にこれでもか、これでもかというところを社協さんもそれに同意しながら、間違っていないんだらうなどについて行って、結果としてこのような素晴らしい結果がでたということに、先ほどから出ているように、

規模的には違うかもしれませんが、取り組み方の誠意というのは、人が取り組むわけですので、魚沼市にも通じる問題であろうかなというように思っていますので、そういったところを関係団体と協議しながらよりよい方向に進めていけたらいいなあと痛感して帰ってまいりました。

高野委員長　菊池会長から、魚沼市の社会福祉協議会も頑張っていますよということを最初に聞かされました。藤里町は、まず引きこもりに対する認識を変えたということが根幹になっていると感じました。具体的には、本人の気持ちになって、引きこもりという言葉ではなく、所属するところが無い人ということに認識を変えたということに感心しましたし、その取組の中で、情報提供をするだけという姿勢に大変驚きました。これについては結果的に地域の活性化になっており、大変有意義な視察でありました。魚沼市の社会福祉協議会でも引きこもりについてのビデオ上映会を3回セットで行っております。第3回目の上映会が12月の第2火曜日にありますので、ぜひ鑑賞に行きたいと思っています。ちなみに藤里町の取り組みのビデオを上映するそうです。大変タイムリーな視察でもあったと感じております。それでは、つぎに秋田市についてお願いします。

佐藤委員　私の意見については報告書5ページ下段に書いてあります。秋田市民の心といのちを守る自殺対策条例、これを議員発議で出されたらと、そしてこれがまとまるまでに議会でどのようなやり取りがあったのか、またパブリックコメントなどについてももう少し調べて、ここに至ったまでの過程を調べていくべきだったと感じました。もう1点なのですが、多くの事業に取り組んでおられます。それらを企画するにあたって庁内の会議、また民間団体の会議、市民ネットワークというようなことで各会議を設けられていますが、それぞれ構成するメンバーが違っているようなかたちで、やはり多様な意見を吸い上げる仕組みづくりができて、また官民の連携が上手くいっているんだなというようなことを感じてきました。

関矢委員　私も、報告書4ページに書いてあるとおりでありますが、前日の藤里町のお話が非常に熱弁で聞き入ったのですが、つぎの日の視察は声が小さく、実際よく聞き取れなくて流してきたみたいな感じでした。視察の帰りのバスで山田課長と、秋田市は目標値が高く、魚沼市はハードルが低いんだという話をしましたが、今日の説明にもありましたが、すでに自殺者が10人をオーバーしているということで、非常に難しいなど。そういうことで、議会も議会として自殺対策条例を議員発議で出すというほど、市民と一体となって問題視していかないと、なかなか自殺者の数は減らしていけないのかなと思います。先ほどの質疑の中でも話したように、やはり市民全体で、魚沼市は自殺者が多いんだ、自殺者を一人でも減らそうという機運をあげていきたいという感想を持ちました。

森島委員　関矢委員が言いましたが、話が聞き取れなかったと私もそのように感じましたけれども、ぜひ行政の皆さん方、各自治体から視察に来た時には、はっきりと対応していただきたいということと、私は自殺ということだけではなくて、命ということについて秋田市で研修をさせていただいたと。私の感想は報告書5ページの上段にあります。昨今、虐待だとか、あるいは平気で人を殺すというようなことが新聞の紙面を毎日にぎわしているということで、私は授かった命というのをやはり大事にしていくということがこれからの行政に求められていることであろうかと思ったり、私たち議員としてもそういうことの大切さをやっつけていかなくてはならないのかな、ということを感じた1日であり、命の大

事を考えさせられる2日間の研修でありました。

森山委員 自殺死亡率が高いということで秋田市では、議員発議でまず条例を設置したということで相当驚きを持ちました。死亡率でみると、新潟県、まして魚沼市は相当高い状況が続いているということで、やはり何らかの対策をとらなくてはいけないというような気がしてなりません。ただなかなか事前に自殺しようとする方を察知するという事は非常に難しい問題なので、本当にどうやったらいいのか、私も解決策を見い出せないのですが、やはり行政だけではなく、秋田市のように民間との連携を取っていく中でやっていくしかないのかなど。行政側だけで自殺予防と言ってもなかなかだめですので、民間の力を借りていくべきではないかなというように感じました。

大桃委員 条例を策定したなかで、色々なキャンペーンあるいはのぼり旗等を含めたキャンペーン月間を実施している秋田市の計画は素晴らしいなというように受け止めました。ここにきて数字がまた盛り上がっているところの質問はさせていただいたのですが、その減った理由、そしてまた増えてしまった理由が明確になっていなくて、そこがちょっと分からないんですよ、というのは当然とも思うのですが、この部分がしっかりと押さえられないと、次の手が打てないんだろなというのが私の実感でして、本市としても色々今後取り組んでいくわけですが、ただデータを取って数字化してこれがふえた減ったということだけではなくて、やはりその神髄のところは何かということをきちっと押さえたうえで対策をとっていただくということが必要なんだろなというように強く感じました。報告書では「秋田市としてもこれから真価が問われる」と生意気なことを書いてしまいましたけれども、数字だけではなくて、その原因が何なのかということを中心に調査をして、その上で対策を立てていっていただきたいなというように考えました。

高野委員長 自殺予防は大変な取り組みなんだということを改めて感じたことが第一印象です。その対策の関係については、やはり総ぐるみということがひとつのポイントということで、具体的には街頭キャンペーンで住民への目に見える、耳に聞こえる対策、もうひとつは、専門家チームによる対策会議といますか、専門家によるチームの必要性を感じました。大変意義ある視察であったと思います。ほかに補足等がありますか。(なし) それでは、視察の総括につきましては、報告書案ということで記載してありますが、その部分についての手直しがあれば直しますし、この内容でもって議長に報告をし、不足については今お話しいただきましたので議事録で補足するというかたちにしたいと思います。ちなみに森山英敏委員の報告書の提出が少し遅れましたので、報告書案の中には入っていませんが、森山委員の所見については報告書に加えるという取扱いをしたいと思います。それでもって議長へ報告をしたいと思いますがご異議ありませんか。(なし) そのように決しました。それでは今回研修してきた内容については、各委員の議員活動又は委員会でも引き続き検討課題として、調査していくこととし、本日は以上としたいと思います。

## ・その他

高野委員長 それではその他を議題といたします。その他執行部から報告事項はありませんか。

小峯市民福祉部長 後日、全員協議会でクマ対策関係の報告があるということですが、市民



福祉部も生活環境課で鳥獣対策を担当しております。総務政策部、産業経済部もそれぞれクマ対策の担当課が3課ありますが、市民福祉委員会も無関係ではございませんので、これまでのクマの現況ということで説明をさせていただきます。10月18日以降、小出地内にクマが出没してけが人が出た以降ですが、3課で協力しまして土日も含めてずっとクマ対策を実施してきました。今でも総務政策部で防災行政無線で放送をしたり、クマが出没すればその現場に行って対策を考えたり、わなを設置したりというようなことを行っています。わなについても、市が保有しているわなは全部設置済みです。今年度のクマの捕獲状況ですが、4月以降15頭捕獲しております。そして10月19日の市内にクマが出没した以降は、11頭の捕獲ということです。高速道路上で交通事故により死んだクマについてはこの統計外ということですので、それも入れると今年度16頭ということになります。15頭のうち、銃を使った捕獲は3頭、残りの12頭はわなというようなことで捕獲しております。また、旧町村別ですが、堀之内無しで、小出1頭、湯之谷6頭、広神1頭、守門2頭、入広瀬5頭、計15頭という状況です。最新の捕獲は、17日箕和田でのわなの捕獲が最新ということ。詳しくは全員協議会で3課合わせた内容で説明があるかと思っておりますのでよろしくお願いたします。

高野委員長　委員の皆さんから何かご意見ありますか。

森山委員　住民から、市の対応が生ぬるいというか、もう少し効果的な対策を考えて欲しいという要望が結構寄せられておまして、というのは、住民から見ると、注意の呼びかけだけをして具体的に何をしているのかと、あとパトロールをしていることも分かるんだけど、やはりもう少し積極的に捕獲作戦を大々的にやってもらわないと、正直言って、夜の繁華街に全く人がいない状況だということで、もう少し強力で押し進めて欲しいという話がありました。また市全体で、今言われたように色々な課で取り組んでいるんだけど、クマ対策専門チームみたいなのが無いようで、あっちでもちょっとやり、こっちでもちょっとやり、みたいな受け止め方をされておりますので、やはりもうすこしきちんとした体制というのと具体的な駆除作戦というのを大々的にやって欲しいという声がありますので、ぜひとも検討をお願いしたい。

小峯市民福祉部長　全体の協議の場ですが、10月18日以降、農林整備課、防災安全課、生活環境課と3課が集まりまして、その都度協議して対策を逐次させていただいております。クマ対策についてですが、市街地での発砲は許可されていません。先般、大沢加工の前で発砲はしましたが、そちらについては麻醉銃を撃った後にクマがむかってきたということで、自身を守るために例外的に発砲したということでした。またわなについても、はちみつを使ってそのおいでクマをおびき寄せるのですが、人家の近くにわなを設置すると、その人家に被害が及ぶ可能性があるということで、ある程度人家から離れたところにわなを設置せざるを得ません。できる限りの対策はしておりますが、法規制等もあり、なかなか市民の皆さんが思うような完璧な対策が望めないという状態です。それから、オリについてですが、今9基のオリが市内にあります。そのほかに農林整備課でまた5基発注済みということで、さらに強化していこうという段取りになっております。ですので、市街地での発砲ができず、クマが出たからすぐにやっつけるというわけにはいきませんが、その辺はご了解いただきたいということでございます。

佐藤委員　生活環境課ではなく総務政策部の所管になるんだろうと思いますが、朝晩に防災

無線で放送していただいておりますが、それと同じものをFMうおぬまでも流していただけないでしょうか。防災無線はよく聞こえないということもありますので、FMうおぬまでも同じ情報をきめ細かに流していただきたいということを要望させていただきたい。

小峯市民福祉部長 FMうおぬまについても、当分の間、防災無線と同じ内容を流してもらう対策をとっていましたが、今、流しているかどうかは把握しておりませんが、また協議させていただきたいと思います。

大桃委員 保護者同伴で子供の登下校をしていますが、聞くところによると今日までが対象と聞いたのですが、明日以降というのはどうなるのか教えてください。

小峯市民福祉部長 クマの出没については、生活環境課へ全部情報が集まってきて、そこから学校、保育園、教育委員会であるとか、保健所や県の関係機関には全部ファックスでお知らせしております。ですので、出没情報を見て父兄の送迎にするのか、どうするのかというのは教育委員会で協議して決めていただいているという状態です。今回も東小学校の近くで出ておりますので、すぐさま教育委員会へ連絡をしてそれぞれ対策をとっていただいているというようなことであります。

大桃委員 明日はどうなっていますか。

小峯市民福祉部長 今日クマが出没すれば、また話が別になるということです。ケースバイケースになるのですが、昨日は東小学校の近くで出没して、父兄送迎という状態になっております。対策を逐次とって人命最優先ということできらせていただいております。

高野委員長 他にありませんか。(なし) それでは委員の皆さんからこの他に協議事項等はありませんか。

佐藤委員 先般、議会と小出病院との懇談という機会を設けていただきました。小出病院からは本日説明をいただいた国が示した病院再編の関係の話もありましたが、実際に今ある小出病院の課題について話を聞かせていただきました。ひとつはやはり、新人の職員の確保、看護師を含めて確保が大変だというようなこと、もう1点は、地域医療の勉強で研修医の受入をかなりしているということなんです、その人たちが宿舎にしているのがビジネスホテルというようなことで、やはりそこに1ヶ月も滞在するとなると大変ではないかという話も聞いております、できれば病院の近くにそういった専用の宿舎なり、また研修するところがあればいいんだろうと思うんですが、市としてそういった病院側の要望というのを聞いているようでしたら、その辺どういった話になっているのか少しお聞かせいただければと思います。

山田健康増進課長 直接ではありませんがそのような話は伺っております。研修医も市の健康診断等と同行するなど研修をしていただいております。やはり若い医療職員が欲しいので、修学資金の支援もしておりますし、それなりの対応は考えていきたいと思っております。

佐藤委員 そういった話が耳に入っているということなんです、やはり新人を募集するという広告を打つにしてもそういった福利厚生にからむようなところ、また、先ほど言いましたが、研修医がちゃんと勉強できるようなスペースが用意してあるんだよ、みたいな。要は、PRが下手だというような話を聞いた中で、そのようなことも広告で書いていければいいよねと、いう話がありましたので、その辺についても今後検討いただければと思います。

山田健康増進課長 検討させていただきたいと思います。

高野委員長 他にありませんか。(なし) それでは、本日の会議録の調製については委員長に一任を願います。以上で本日の委員会を終わります。

閉 会 (10 : 58)